

カンカンと不思議な音がするお墓



福岡城主九戸政実が南部信直に亡ぼされ、家臣島山重勝は自刃、その一人娘おかんは家来の三平と夫婦になって盛岡へ来た。夫は盛岡城築城人夫となって働いていたが、工事中重傷を負い再び哀れな運命に追い込まれた。組頭である高瀬軍太はかねてから気品高いおかに思いを寄せていたが、三平の災難をきっかけにますます露骨になり、夫の運命にも危機が迫ったので、困ったおかんは夫を殺害するなら意に従うと組頭を欺き、その夜、変装して夫の身代になって貞死した。

軍太はまもなく仏門に入り、遺族の生計を助けた。

現在の墓碑は、いまなおカンカンと不思議な音がするといわれている。

平成 23 年 6 月 盛岡市観光課
(案内板より)

